

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
（分担研究報告書）

全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び高質診療データベースの為のNCD長期予後入力システムの構築に関する研究

（研究分担者 岡本高宏・東京女子医科大学第二外科・教授）

研究要旨

NCDシステムを利用した甲状腺がん登録を進めており、甲状腺腫瘍診療ガイドラインの改訂作業もほぼ終了した。甲状腺がん登録は予後データ入力とカバー率の向上に向けた対応を準備している。甲状腺腫瘍診療ガイドラインはわが国独自の管理方針を継承し、西洋とは一線を画した指針を公開する。

<p>A. 研究目的 (1) NCDシステムを利用した甲状腺がん登録作業を推進する。 (2) 甲状腺腫瘍診療ガイドラインの検証作業、改訂作業を推進する。</p> <p>B. 研究方法 (1) 甲状腺がん登録の整備を図る。 (2) 甲状腺腫瘍診療ガイドラインの改訂作業を完了する。</p> <p>C. 研究結果 (1) NCD事務局と協議を行い、予後情報システムの追加構築に向けて学会内で検討を行うこととした。 (2)-1：第3回世界甲状腺がん会議にて、わが国の改訂甲状腺腫瘍診療ガイドラインの概要を解説した。 (2)-2：同じく改訂ガイドラインについて、第60回日本甲状腺学会、第55回日本がん治療学会のシンポジウムにてその概要を発表した。 (2)-3：第60回日本甲状腺学会では診療ガイドラインの作成手順を解説した。 (2)-4：第29回日本内分泌外科学会で甲状腺乳頭がんに対する予防的リンパ節郭清の是非に関する討論が行われ、改訂ガイドラインをもとに、エビデンスに基づく臨床決断のあり方を論じた。 (2)-5：日本医療機能評価機構の医療情報サービス Mindsにて開催された第20回診療ガイドライン作成グループ意見交換会にて、甲状腺腫瘍診療ガイドラインの改訂状況と内容を解説した。 (2)-6：大規模データを用いた診療ガイドラインの検証作業について準備を進めている。</p> <p>D. 考察 (1) NCDへの症例登録により甲状腺がん登録作業は自動的に行われているが、耳鼻科・頭頸部外科からの登録システムはないため、カバー率には限界がある。</p>	<p>(2) 甲状腺腫瘍診療ガイドラインの改訂作業はほぼ終了した。</p> <p>E. 結論 甲状腺がん登録システムの精緻化とわが国独自の診療ガイドライン普及が今後の課題である。</p> <p>F. 健康危険情報 なし</p> <p>G. 研究発表 1. 論文発表 なし 2. 学会発表 Takahiro Okamoto (Instructional Course) Thyroid cancer guidelines around the world. 3rd World Congress on Thyroid Cancer, Boston, July 2017 岡本高宏、杉谷巖、小川和久、和田修幸、伊藤康弘、小野田尚佳(要望演題)．甲状腺乳頭癌に対して予防的リンパ節郭清は勧められるか？新ガイドライン．第29回日本内分泌外科学会，May 2017 岡本高宏(臨床重要課題)．診療ガイドラインの作成手順について．第60回日本甲状腺学会，Oct 2017 岡本高宏(専門医教育セミナー)．新甲状腺腫瘍診療ガイドライン．第60回日本甲状腺学会，Oct 2017 岡本高宏(シンポジウム)．甲状腺腫瘍診療ガイドライン．第55回日本癌治療学会，Oct 2017 岡本高宏．望ましい活用を見据えた診療ガイドライン作成のあり方:エビデンスを明示するガイドライン-甲状腺腫瘍2017．第20回診療ガイドライン作成グループ意見交換会，Aug 2017</p> <p>H. 知的財産権の出願・登録状況 1. 特許取得：なし 2. 実用新案登録：なし 3. その他：なし</p>
--	---